

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號四第 卷一第

論說

● 收益ト生産費トノ關係

● 專賣ト戰後財政

● 經濟學認識論ノ若干問題(三、完)

雜錄

● 危險分散主義ノ原則

● 經濟主義ニ就テ

● 英吉利ノ農政問題(二、完)

● 享保年間ノ米價調節(二、完)

雜報

● 經濟的進化ト人口法則(二)

● 戰爭利得稅新案

● 獨逸帝國全體ニ亘ル半官企業組織新説

● 英國ノ戰費ト經濟

● 獨逸ノ植民の運動ノ回想

● 相續稅ト家族制度

● 本多利明ノ著書ニ就テ

● こんらゝど教授逝ク

法學博士 河上 肇

法學博士 小川郷太郎

商學士ドクトル 左右田喜一郎

法學博士 神戸 正雄

法學博士 戸田 海市

助教授 河田 嗣郎

法學士 本庄榮治郎

講 師 米田庄太郎

法學博士 小川郷太郎

法學博士 神戸 正雄

助教授 河田 嗣郎

助教授 山本美越乃

法學博士 神戸 正雄

法學士 本庄榮治郎

助教授 河田 嗣郎

こんらーご教授逝ク

助教授 河田 嗣 郎

獨逸經濟學界ノ老將 Dr. Johannes E. Conrad, Prof. in Halle a. S., Geh. Reg.-Rat. 本年四月二十五日七十六歳ヲ以テ長逝セラレタ。

教授ハ一八三九年二月二十八日 Pötkau in Westpreussen ニ生レ、當初ハ父母ノ所有地ニ於テ農業ノ實際家タラムト欲シタノデアルガ、後志ヲ立テテ學問ノ入トナリ、初先ヅ自然科學ヲ學ビ後又伯林及ビ Jena ニ於テ國家科學ノ研究ヲスルニ至ツタ。教授ガゑ一ニ於テ Hildebrand 教授ノ知遇ヲ得タコトハ教授ノ學者トシテノ方向ヲ決定スルニ絶大ノ影響ヲ及ボシタモノデアツタ。即チ教授ガひるでふらんど教授ノ研究室ニ於テ Liebig ノ著述ニ關シテ試ミタ講演ハ洵ニ教授ノ學識ノ認メラレ學界ニ入ルノ登龍門ヲ爲シタノデアアル。教授ノ最初ノ著述ナル Liebig's Anricht v. d. Bodenschöpfung u. ihre geschichtl., statist. u. nationalökonomische Beg-

ründung. ハ右ノ講演ヲ基礎トシテ出來タモノデアリ、氏ハ此ノ著述ニ依テ一八六四年ニ學位ヲ授ケラレタノデアアル。其後教授ハ暫ク外國ニ留學シテ居タガ、一八六八年ニ農業統計上ノ大著述 Die Statistik der landwirtschaftlichen Produktion u. s. w. in Hildebrands Jahrb., 1868 ヲ公ニシ、之ニ依ツテゑ一ニ大學ノどつゑんと爲リ、其後一年ニシテ一八七〇年 Ausserordentlicher Professor ニ擢セラレタ。

同年教授ハひるでふらんど教授ノ愛嬢 Bertha Hildebrand ト結婚スルコトトナツタ。

其後教授ハ依然トシテ専ラ農業統計ノ研究ニ没頭シ其ノ結果彼ノ Agrarstatistische Untersuchungen in Hildebrands Jahrb., Bd. 17 u. 18, 1871-2 ハ生レ出デタノデアアル。而シテ此ノ論文ハ一八七二年終ニ教授ヲシテしゆもら一教授ノ後繼者トシテはるれ大學正教授ノ椅子ヲ得セシメタノデアツタ、其後今年ニ至ルマデ四十二年ノ久シキ教授ハ其職ニ在ツテ其ノ活動ヲ續ケテ來タノデアアル。

教授ノ學問ハ有邊ブル所ニ依ツテモ自由明カナルガ如ク主トシテ農政及ビ農業統計ノ研究ニ存スルノデアツテ、此ノ方面ニ對シテハ幾多ノ著述論文ヲ出シテ大ニ學界并ビ實際界ニ補益スル所ガアツタ。從テ教授ノ研究ハ理論ヨリモ事實ヲ主トシ多ク歸納的ニ又統計的材料ニ依ツテ農政上ノ實際問題ノ研究解決ニ貢獻シタノデアル。其ノ數多キ著述論文中ニハ先ヅ土地所有ノ問題ニ關スルモノニ頗ル見ル可キモノガアリ、又價格統計 (Preisstatistik) ニ關シテモ頗ル有益ナル研究ノ公ニセラレ又材料ヲ提供セラレタルモノガ多ク、約價平準ニ關テハ常ニ規則正シク彼ノ Jahrbuch 中ニ統計ガ掲載セラレタノデアル。小賣價格ト卸賣價格トノ關係ニ關スル教授ノ報告演說 (Schriften des Vereins für Socialpolitik, 1888) ハ就中特ニ有名デアル。

又穀物關稅ノ問題ニ關シテモ教授ハ常ニ熱心ナル研究ヲ續ケ、獨逸帝國ノ關稅政策上ニ變轉ノ時期ノ表ハルル毎ニ之ニ關スル研究特ニ統計的及ビ歷史的材料ヲ提供シテ問題ノ解決ニ資シ

タ。Schönberrgs Handbuch d. polit. Oek. (2. bis 4. A. B.); Hvb. d. Staatsw. (2. u. 3. Aufl.); Die Schriften des Vereins für Socialpolitik, 1902 ナドニハ殊ニ穀物關稅問題ニ關スル包括的ナル研究ガ公ニサレテアルノヲ見ル。而シテ教授ハ此問題ニ關シテハ常ニ不偏不黨ノ態度ヲ守ツテ失ハズ所謂農本論者デモナケレバ、又商工本位論者デモナカツタ。

右等ノ外教授ノ名ヲシテ世界的ナラシメタモノハ、彼ノ有名ナル Jahrbuch für Nationalökonomie und Statistik-Handwörterbuch der Staatswissenschaften トガ主トシテ教授ノ力ニ依テ出來テ居ルコト之デアル。前者ハ教授ガ一八七〇年以來ひるでふらんど教授ノ後ヲ襲フテ其任ニ當ツタノデアアルガ、今ヤ實ニ前者共こんらんどノ年表こんらんどノ經濟字彙トシテ知らレテ居ル有様デアル。

斯ル功績アル教授ニシテ今ヤ則テ亡シ。良ニ我が經濟學界ノ一大損失デアアル。謹ミテ用ス。